



2018年2月25日（日）山形県東置賜郡高畠町 道の駅「たかはた」を拠点とした自動運転サービスの実証実験の開会式が実施され、2月26日（月）～3月4日（日）までの期間において実証実験が実施されました。実験は国土交通省が2020年までの社会実装を目指し、全国13箇所ですら順次実施しているものとなり、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の移手段を確保するのが狙いとなっています。車両が走行するルートは、『道の駅たかはた～JR高畠駅』の各拠点をつなぐ区間となっており、緊急時に備えてドライバーが運転席で監視しながら、速度やハンドルの操作をシステムに任せ公道を走る「レベル3」の実証実験を行いました。住民モニターの皆様には自動運転車両に乗車し、アンケートにお答え頂きました。



開始式の様子です。



近年に無い大雪の中ではありますが、次の世代における移手段の可能性を探るべく実証実験を行いました。

